

機関名	東京大学 大学総合教育研究センター		
設立年	1996年		
Web サイト URL	<a href="http://www.he.u-tokyo.ac.jp/">http://www.he.u-tokyo.ac.jp/</a>		
所在地	〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 第2本部棟		
連絡先	電話	03-5841-2390	FAX 03-5802-3372
	E-mail	Cerd@he.u-tokyo.ac.jp	
代表者名	センター長 吉見俊哉		
スタッフ	<p>◎全センター事務担当スタッフ6名、</p> <p>◎大学改革基礎部門スタッフ2名(うち事務担当1名)、</p> <p>◎教育課程・方法開発部門14名(うち事務担当4名)、</p> <p>◎全学教育推進部門10名(うち事務担当1名)</p> <p>◎朝日新聞社寄付研究部門2名(うち事務担当1名兼任)</p> <p>◎大学発教育支援コンソーシアム連携部門7名(うち事務担当1名)</p>		
沿革	1996年5月、東京大学調査室より組織改編して大学総合教育研究センターとして発足し、現在に至る。		
特徴	<p>グローバル化の激流や日本経済の低迷の中、人づくりの要たる大学はいま、大胆な教育改革を期待されています。入学時期の見直しや教育の国際化、新しい全学教育カリキュラムの構築や教育の質保証、高学歴層のキャリアパス再構築など、東京大学には全学で取り組むべき教育課題が山積みです。本センターは、そうした全学的教育改革を支えるエンジンとして、本学の教育の関する基礎研究、全学的教育のプログラムの運営、全学FD支援やオープンエデュケーションの推進など多数の事業を通じ、新しい東京大学を実現します。</p> <p>1.大学改革基礎調査部門</p> <p>大学改革基礎調査部門は、学内外の高等教育改革の動向や調査統計の分析によって、高等教育研究を通じた日本型IRの実現をめざし、東京大学の改革に資することを目的としています。</p> <p>2.教育課程・方法開発部門</p> <p>本研究部門は、「卓越した教育方法・学習環境の探究と構築」に関する事業・研究を主軸として実施しつつ、「高校—大学—職業領域の円滑な移行(円滑な高大連携・教育機関から職業領域への移行・人的資源開発)」に関する研究を行い、卓越した高等教育環境を整備することをめざす研究部門です。東京大学の各部署で実施できない全学規模のFD(ファカルティディベロップメント)、PRE-FD(大学院生を対象にしたFD)プログラムを実施しています。</p> <p>3.全学教育推進部門</p> <p>教養教育と専門教育あるいは専門諸分野間にまたがって、真のユニバーシティとなるための教育諸課題の解決を図る仕組みの提案・実施を担います。</p> <p>■学術俯瞰講義</p> <p>2005年冬学期から創設された1、2年生向けの講義です。世界的に著名な本学の教員が分担して、その学問領域を俯瞰的な視点から解説することによって、学生に学問の全体像を提示します。</p> <p>■UTokyo OCW</p>		

	<p>東京大学の正規講義の資料や映像を一般に無償で公開するウェブサイトであり、東京大学の「知の開放」プログラムのひとつです。公開している資料等については、著作権の制限にしたがって、東京大学が許諾処理を行っています。</p> <p>■UTokyo-eTEXT</p> <p>インターネットを通して、講師の生の声での語りや講義風景に触れることができる電子教科書システムです。講義資料、講義内容を文章化したもの、更にそれを補う参考資料や関連情報にアクセスし学習することができる、「理想の教科書」です。</p> <p>■授業カタログ</p> <p>東京大学の学部後期課程・大学院課程で開講されている科目の全体像とそれぞれのシラバスを公開するシステムです。講義科目をキーワードにより検索することもでき、また科目相互の関わりを可視化して俯瞰像を得ることもできます。</p> <p>■国際化プログラム</p> <p>IARU-Global Summer Program(GSP)では、次世代のグローバルリーダーを養成することを目的として、加盟 10 大学が夏の約 1 カ月間コースを同時に開設し、グローバルな環境での勉強と交流の機会を設けています。</p> <p>■特別経費事項（国立大学機能強化）</p> <p>「大学カリキュラムの国際標準構築とそれに基づく国際連携講義」（平成 26 年度～）教育の国際化推進のために、本学が持つ學術の優位性と先端工学技術を用いて、世界トップ大学との間で、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a.ICT 機器を用いた世界を繋ぐ教育環境の構築と国際連携講義の実現、</li> <li>b.講義の標準化ナンバリングシステムの開発とカリキュラム構造の国際比較、</li> <li>c.図書館の新機能を開発し、教育コンテンツの国際的共有、を行います。</li> </ul> <p>4.大学発教育支援コンソーシアム連携部門</p> <p>「学ぶとは、人とかかわり合いながら賢さを育て続けること。」CoREF ポータルは、その活動を支援するさまざまな情報を提供します。</p> <p>5.朝日新聞社寄付研究部門</p> <p>「知の冒険」は朝日新聞の寄付により 2011 年度に始まった、学部後期生と大学院生を対象とする学部横断型の科目です。専門の壁を越えて多様な「知」が結びつく新たな教育と対話の実現に向け、文理の枠を超えた議論を展開しています。また、普遍性と同時代性のあるテーマを多様な分野の講師が異なるアプローチで論じ進めます。演習形式を取り入れ、専門課程に進んでいる学生自らがそれぞれの知識と思考を持ち寄って議論を深めることで、領域横断的な「知」の形成を目指します。</p>
出版物	<p>大総センターものぐらふ</p> <p>大総センターニュースレター</p> <p>大総センターワーキングペーパー等</p>
公募情報	<p>現在、公募はありません。</p>

データ入力日<2016年2月現在>